

気流 U-25

読売新聞 令和元年（2019年）6月4日（火）

「子ども食堂」は 第二の温かい家

大学生 高部ふゆの 20
（奈良県天理市）

昨年11月、両親が地域の子
どもたちの居場所づくりのため
に、大分県別府市にある私
の実家で、地元の自治体の依
頼を受けて「子ども食堂」を
始めました。月に1度、土曜
日に開いています。私はうれ
しくて、時々帰省して手伝っ
ています。

親と来る子や一人で来る子
など、様々な家庭の子どもが
います。ある双子の姉妹は、
来てくれた理由を「毎日、2
人だけで遊ぶので暇だから」
と言い、他の子どもたちと楽
しく遊んでいました。

子どもたちと色々な話をし
て、有意義な時間を過ごして
います。子ども食堂は、休日
でも親が忙しく、寂しさを感じ
る子どもにとって、第二の
家になる温かい場所だと感じ
ました。

私も両親のように、困って
いる子どもを助けられる保育
士になりたい。そのために、
様々なボランティア活動に参
加していこうと思います。

※無断転載不可